

令和元年度 県西地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会県西地区協議会
後援 神奈川県教育委員会・県西地区校長会
一般財団法人 神奈川県立高等学校安全振興会

1 日時 令和元年10月12日(土)13時00分～16時30分

2 会場 南足柄市文化会館 金太郎みらいホール

3 参加者 台風のため中止

4 日程 (次第)

(1) 開会式

- ① 開会の言葉 神奈川県立足柄高等学校PTA会長 坂本 明穂 様
- ② 主催者挨拶 神奈川県立高等学校PTA連合会県西地区協議会会長
神奈川県立吉田島高等学校PTA会長 吉川 由佳 様
- ③ 地区学校長会議会長挨拶 神奈川県立山北高等学校長 藤田 正樹 様
- ④ 神奈川県立高等学校PTA連合会挨拶
神奈川県立高等学校PTA連合会副会長 佐藤 理恵 様
- ⑤ 来賓紹介及び挨拶
(財)神奈川県立高等学校安全振興会理事 反町 聡之 様

(2) 研究協議

- ① 事例発表 神奈川県立足柄高等学校PTA
テーマ 「災害から命を守るために～気づく 考える 行動する～」
- ② 質疑応答
- ③ 助言者講評 神奈川県立大井高等学校長 為成 雄司 様

(3) 休憩

- (4) 講演 演 講 師 NPO法人 口から食べる幸せを守る会
理事長 小山 珠美 様
- 演 題 未病を治す県西地区でおいしく食べ続けたい!
～食事サポーターを体験しよう～
- 質疑応答

(5) 閉会式

- ① 閉会の言葉 神奈川県立山北高等学校PTA会長 鈴木 道子 様

発表者 神奈川県立足柄高等学校PTA 坂本明穂様他

学校名 神奈川県立足柄高等学校PTA

研究テーマ 「災害から命を守るために ～気づく 考える 行動する～」

1 はじめに

「防災」について、語り合いながら、足柄高校PTAとしての活動、営みを、事例発表としてまとめました。

「防災の3K」とは気づく、考える、行動することの3つをいうそうです。

気づくとは【危険に気づくこと】、考えるとは【どう行動するか考えること】、行動するとは【避難するなどの行動をおこすこと】と考えられます。「災害から命を守るために」というテーマのもと真剣に考えてみました。

2 取り組みについて

足柄高校では、これから紹介する3つの取り組みを行いました。

① DIG研修

地図や図面を囲みながら参加者全員で災害リスクをイメージし、予防策や対応策を考える参加型図上訓練のことです。

周辺区域はがけ崩れを起こす可能性が高いため、地震が発生した時は、むやみやたらに逃げないで足柄高校に留まることも選択の一つ。

この例のような研修が災害時にどのように行動したらよいのかを考えるきっかけになりました。

② 避難所開設訓練

足柄高校が南足柄市の避難所に指定されていることで、毎年行われている訓練になります。今年は足柄高校職員、PTA役員、南足柄市避難所担当職員、周辺の自治会など総勢52名が参加しました。

防災倉庫、機材の保管場所、トイレ、ガス、避難所受付、プールなどの確認をし、使用方法の研修を行いました。

また、灯りの確保、非常食の調理、試食を行いました。様々な訓練を行うことが経

験値を上げ、日頃からの有事に備える地域の方とのコミュニケーションを深めるために重要です。

足柄高校に留まり、周囲の状況を判断し、安全に！快適に！避難所生活を過ごせることが大切です。

③ 足高汁

命を守るためにも大切な食事について、足高汁について発表します。足柄高校では、毎年、球技大会が行われる機会に伝統料理の「足高汁」がふるまわれます。避難所開設した際には温かい食事が提供できる役割もあります。

食料の調達が難しい状況でも、電気が止まっても出来ること、温かいものを食べることが心の安定につながります。

開校当初より行われている「足高汁」は地域との連携だけでなく、有事の際に役立ちます。

3 まとめ

学校周辺や、それぞれが住んでいる地域において、どのような災害が起こりうるのか、危険な場所はどこなのか、気づくこと、そして、どのような状況の時にどのような行動をするべきかを話し合い考えておくことは、命を守るために大切なことであると思います。

自分の安全は自分で考える。いつも、どこにいても、命を守る行動を起こせるように、普段から、意識して、危険な場所に気づけるような訓練も必要だと思います。そして、災害が起こってしまった時に、命を守るのは、人が人の命を尊く思う心であると、改めて、感じました。